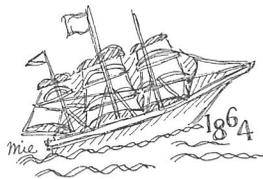


DOSHISHA REPORT



法人部

●2005年春の叙勲・叙位

大学院司法研究科奥田昌道特別客員教授が旭日大綬章を受章され、5月19日皇居で伝達式が行われた。また、森章博大学名誉教授が瑞宝中綬章を、芳江女子大学名誉教授が瑞宝小綬章をそれぞれ受章され、5月23日東京プリンスホテルパークタワーで伝達式が行われた。

●2005年度入社式

4月4日、同志社礼拝堂で入社式が行われた。本年度の採用は、大学教員60人、女子大学教員22人、高等学校教員3人、

八田英二大学長は「幼稚園から大学までの一貫教育は、創立者・新島襄の念願」と小学校設立にいたる経緯を説明。「来年4月の入学式でお会いできることを楽しみにしています」と話した。

また、校長に就任予定の鈴木直人文学部教授らが、教育理念、学習カリキュラム、入試手続きなどについて説明し、引き続き、熱心な質疑応答が行われた。

(本文34頁を参照)

●JR事故等犠牲者5人に在学記贈呈

JR福知山線脱線事故から3ヵ月経った7月25日、同事故と3日後の4月28日に福島県・磐越道バス横転事故で亡くなった学生5人を追悼する大学・女子大学合同の追悼記念礼拝が、同志社新島記念講堂(京田辺キャンパス)で営まれた。

礼拝には約500人が参列。祭壇には大学・文学部1年仙木敦子さん、社会学部1年榎原怜子さん、法学部2年長濱彩恵さん、女子大学・特別専修生大森早織さんと、バス事故で亡くなった大学・経済学部1年佐藤学さんの5人のほは笑む大きな遺影が掲げられ、大谷實総長の追悼の辞や遺族の挨拶などの後、参列者が次々に献花して別れを惜しんだ。

なお、八田英二大学長と中村利男女子

香里中学校・高等学校教員2人、女子中学校・高等学校教員4人、国際中学校・高等学校教員1人、中学校教員2人、大学職員10人、高等学校職員1人、国際中学校・高等学校職員1人の計106人である。大谷實総長と野本真也理事長から歓迎のことは述べられ、野本理事長から各学校の代表者に辞令が手渡された。

大学

●夢告館と恵喜館が竣工

2月2日に夢告館、4月20日に恵喜館の竣工式が、京田辺校地で行われた。

夢告館は、2005年に開設された文理融合型の「文化情報学部」の拠点となる建物で、建築面積1795㎡、延床面積は7914㎡で、地上7階の高層棟と地上3階の低層棟に分かれている。高層棟には個人研究室、会議室、共同研究・実習室、文化情報学部事務室等があり、低層棟には大・中・小教室が配置されている。

恵喜館は、工学部の情報システムデザイン学科と環境システム学科の開設に対応する建物で、建築面積1176㎡、延

大学音楽学会会長から、5人の遺影の前「在学記」が捧げられた。

(巻頭グラビア、本文44頁を参照)

●今年度文科省「現代GP」に2件採択

2005年度の「現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)」の審査結果が、8月5日に文部科学省から発表された。500件を超える申請があり、新たに採択された84件のうち、大学から2件が採択された(昨年度は1件)。

現代GPは、高等教育のレベルアップを目的に「特色ある大学教育支援プログラム(特色GP)」より1年遅れの昨年度から始まった。実績を重視する「特色GP」に対し、取り組みの将来性や計画の充実度を重視し、高等専門学校も申請できるのが特徴。

採択された一つは、法学部が実施する「企業法務プロフェッショナル育成プログラム」の開発・実践で、企業の法務担当部門で即戦力となる人材の育成をめざし、産学協同で取り組む。もう一つは、「けいはんな知的特区活性化デザイン」の提案で、京田辺キャンパスを中心に、「けいはんな知的特区」全体をキャンパスと見立て、学生参加による地域活性化への提案を行う。

床面積4622㎡、地上4階建て。個人研究室、実験実習室、論講室・演習室が備わっている。

●同志社小学校の説明会を開催

2006年4月の開校を控えて、7月16日、同志社小学校説明会が今出川校地で開かれた。3回に分けて行われた説明会には、入学を希望する児童の保護者ら約2400人が参加し、教育方針や入試手続きなどに真剣に耳を傾けていた。



同志社小学校説明会の様子

また、特色GPでは、大学と女子大学が加盟している大学コンソーシアム京都(理事長・八田英二大学長)の「産官学地域連携による人材育成プログラム―京都地域におけるインターンシップの展開―」が採択されている(44大学・短期大学が参加)。

女子大学

●音楽学科声楽オペラ公演

第18回オペラ公演W.A.モーツァルト作曲「フィガロの結婚」は2月26日に新島記念講堂で上演された。オペラクラスの4年次生を主役に、授業の成果発表と



して毎年行っている。今回は井原秀人（本学助教）をフィガロに迎え、バイタリテイ溢れる新しいキャラクターのフィガロとなった。今回の公演もまた、多数の来聴者があり、立ち見が出るほどの大盛況となった。

● 憩水館竣工

3月3日、旧クラブボックス跡地に建設された憩水館の竣工式が行われた。

学校法人同志社全体として初の医療・薬学系の学部である薬学部の実験実習棟。

地上6階、地下1階、延床面積7,124㎡、高さ28m。地上階には実習室、研究室を中心に資料室、ラウンジ、事務室等があり、地階には動物実験室、RI（ラジオアイソトープ）室がある。キャンパス景観と調和する切り妻のシルエツトとし、南北面には実験排気用バルコニーを設け、研究の機能をデザイン要素に取り入れている。（巻頭グラビア参照）

● 薬学部医療薬学科開設

2005年4月に薬学部医療薬学科を開設。150人が入学。近年、医療が高度化すると共に医薬分業が急速に進展しているなかで、薬剤師には、病棟における服薬指導、薬歴管理、有効かつ安全な

年を超えて交流を楽しみ、季節はずれのパウダースノーの贈り物に歓喜の声をあげていた。

● 校祖墓参

4月11日

若王子に登る少し前まで雨が降り続き、足元が悪かったが、雨上がりの新緑は鮮やかで目にまぶしく、小鳥もさえずり始めるなか、『讚美歌21』412番を歌い、宗教主任の奨励「目標を目指して」を聞きながら新島 襄の理想に思いをはせ、新人生各自が校祖の墓前で高校生活の目標を誓った。

● 遠足

5月2日

滋賀県下や京都府下のキャンプ場を行き先とし、各クラスが自主的に計画を立てて実施。風が強いので、火おこしに苦労したが、火種を分け合ったり、ちよつとしたコツを伝えたりして助け合い、焼きそばやバーベキューなど楽しく食事を作った。新しいクラスでの友達の交流を図った。

● 花の日礼拝・施設訪問

6月2～3日

庭の花をささげてくださいと生徒に呼びかけ、集まった花を壇上にささげ、自然の美しさ、命の輝きをたたえて花の日礼拝を守る。放課後はその花を携えて地域のバプテスト・ホームを生徒有志ら30余人で訪問。ホザナ・コーラス部員が

薬物療法の提供など業務の高度化がより一層強く求められています。そうした中で、本学では医療現場において医師、看護師、臨床検査技師、管理栄養士とともにチーム医療の一翼を担いうる真に質の高い実力のある薬剤師の養成をめざします。

● 2005年度新入生

学外オリエンテーション

4月4・5日、新入生学外オリエンテーションを行った。履修登録・学生生活の相談やレクリエーションを通じて教員・友人との親交が深まり、これからの学生生活への不安を吹き飛ばす貴重な2日間となった。

各学科の開催場所、参加者人数は次のとおり。

* 日本語日本文学科

（於・宇治・花やしき）

新入生 145人、リーダー 18人、教職員 15人

* 情報メディア学科

（於・ウエルサンピア京都）

新入生 148人、リーダー 15人、教職員 16人

* 現代社会学部

（於・リーガロイヤルホテル京都）

新入生 443人、リーダー 30人、教職員 31人

● 春季リトリート

5月28・29日、同志社びわこリトリートセンターにて行われ、学生・教職員70人が参加。

同志社大学神学部本井康博教授を講師に迎え「ミッシェン・ハンティングのお誘い―（時）を生きるために」と題して講演いただいた。あえて時流に逆らって生きた新島襄と同志社の成り立ちを通して、キリスト教精神を学んだ。日常生活から離れ、自然の中で共に語り、分かち合った。また、新しい出会いがあり、グループ・トーキングや全体会を通して、参加者は交流を深め1泊2日の有意義な時間を過ごした。

高等学校

● 学校スキー

3月12～16日

戸隠スキー場でスキーとスノーボードの講習。バス一台をチャーターしての希望参加。レベルに応じて少人数グループでインストラクターから習い、初心者もすぐに上達。戸隠の自然に触れながら学

日差しの中、比叡山を仰ぎ見ながら、学年ごとにクラス対抗でバレーボールやドッジボール、サッカーなどの種目に熱戦を繰り広げた。

● 団体鑑賞

7月11日

演劇集団ヨーロッパ企画「サマータイムマシン・ブルース2005」を寒梅館ハーディーホールで2・3年生が鑑賞。秋の岩倉祭での演劇発表に役立てたいと、いろいろな見方で楽しんでいった。

● 1年クラス合宿

7月14・15日

「寝食を共にし、語り合い」を通してクラスの親睦を図る目的で、クラスごとに実行委員が計画。行き帰りのバスの中も大切な交流の場。「青少年山の家」等に宿泊。

● ウェスリー交換留学

7月22日～8月8日

今年で14年目となるオーストラリア、メルボルンのウェスリーカレッジとの恒例行事。今年も男子2人を含む9人の交換留学生が「日本の祭り」をテーマにパーフォーマンス。「よさこいソーラン節」をオープニングとエンディングとし、その間に独楽まわしや羽根つき風船つきなどの遊びをアレンジして、日本の祭りの雰囲気を与えた。



ウェスリー交換留学の結団式（生徒9人と先生）

「ふるさと」や「こいのぼり」などの唱歌を次々と合唱。ご老人たちも一緒にリズムをとって歌い、高校生たちの姿に若き日の自分たちの姿を重ね合わせ、共に楽しいひと時を過ごされていた。

● 球技大会

6月8日

これまで球技大会・体育祭の開会式に利用してきた北グラウンドは現在小学校建設中。宝ヶ池通りに面した南グラウンドで元気いっぱい開会式。初夏の強い

香里中高

3学期

●防災訓練

1月7日の始業式に実施した。例年10月下旬に行なっていたが、消防署との日程の折合いがつかずこの日となった。生徒は未だ正月気分が抜けず、ダラダラした生徒の態度に、「中越地震もあったことだから」と署員の厳しい注意がとんだ。

●主要通学路通行禁止

「あれが始まったのは寒い時のことでしたね」とガードマンの人と言葉を交わした。香里園から南東へ行くと長屋門のある古い家並みを抜けて学校に達する道がある。あまり車も通らないので生徒達は横並びになって悠然と歩いていた。周辺住民の方々には、さぞご迷惑なことだったでしょう。結局、冒頭に書いたように車がよく通る別の道が指定され、安全のため辻々に朝夕ガードマンや教員が立つことになり今に至っている。以前の道の門に秋祭の提灯がかかる頃にはもどりたいものである。

●高2学部希望予備調査

1月26日、従来3年で実施していたの

を、大学の新学部がほぼ出揃ったとみて、生徒の意識を高めるためにも、教務の内規通り2年ですることになった

●食堂に新券対応機械

昨年11月の新券発行以来、「新券に替えてください」がやっと解消した。2月23日に新しい食券発行機械が入った。

●校舎内禁煙

4月7日の教職員会議で提案、5月1日より実施された。

●一年中8時30分始業

長らく親しんだ冬時間、夏時間が廃止された。

●JR福知山線の事故

4月25日、本校はPTA総会の日で保護者で遅れた方もあったが、幸い負傷者はなかった。その後生徒の中には通学に不便な者も出た。卒業生に負傷者が出て忘れられない事故となった。

●竹中大臣2度目の来校

6月5日、「日本21世紀ビジョン」子どもトークライブのため来校され、最初に経済についての講演、その後生徒代表8人とトーク。主として少子高齢化、女性働きやすい社会について活発に意見交換がなされた。参加者約500人の中にも質問を用意していた人もいたが、時



竹中大臣と生徒8人のトークライブ

女子中高

●卒業式

高校卒業式 2月18日
中学卒業式 3月17日

中学、高校別々に卒業式を行った。それぞれの進路に向かって巣立っていった。

●修学旅行

中学2年生は、3月18〜20日の2泊3日の日程で九州・長崎方面に、高校2年生は、3月18〜21日の3泊4日の日程で沖縄に修学旅行を実施した。

●スキー学習

3月21日〜25日まで高校1年生の希望者を対象に、北志賀、竜王でスキーの講習会を実施した。

●入学式

中学校252人、高等学校268人を迎え、入学式を行った。

●女子部創立記念日

4月21日 女子部創立記念礼拝をもった。礼拝の特別講師には同志社女子大学名誉教授、有賀のゆり先生をお迎えし、「なぜ同志社、なぜ女子部なの？」と題して、奨励をしていただいた。

●春季遠足

5月6日 中学2年生から高校3年生が各学年ごとに遠足を行い、クラスの親睦を深めた。

●中学1年生修養会

5月6〜8日 ユニトピアささやまにて「同志社で学ぶ―自分を見つめ、友達を理解して、隣人になろう―」を主題にして修養会をもった。修養会を通して同志社に学ぶ意義を考えた。



ヌエーバ校生との文化交流の一コマ

●国際交流

5月13日 米国サンフランシスコ郊外にあるヌエーバ校との交流で、春休みに本校生徒8人が現地ホームステイをし、5月7〜14日までヌエーバ校生9人がホームステイし、本校へ体験入学した。文化交流し、なごやかな時を過ごした。

●母の日礼拝

5月13日 カーネーション販売の収益金および募金はハンセン病救済団体の好善社とIDEA JAPANに送った。

●球技大会

6月16日には、聖歌隊の合唱、ハンドベルの演奏による賛美礼拝をもち、17日には、花を持ち寄って飾り、花の日の礼拝をもった。その日の午後、花と募金を持って、京都市内を中心とする養護施設、老人ホーム、病院、保育園等24カ所を高校一年生が訪問し、交流をもった。

●花の日礼拝

6月30日

●芸術鑑賞

中学生は京都劇場にて劇団四季による「アイーダ」を、高校生は大阪西梅田にある大阪四季劇場で同じく劇団四季による「マンマミーア」を観劇した。余った席は抽選により保護者で埋まった。

国際中高

●**中学合唱フェスティバル** 2月5日
京田辺市の一人暮らしの老人の会「むつみ」に皆さんをお招きして開催された。中学3年生の全体合唱、むつみの会の皆さんも合唱に参加していただき、華やかで楽しい一日となった。

●**卒業式** 3月19日
中学校 3月11日
高等学校 3月11日

中高それぞれの卒業式。スーツ姿、振り袖姿がまぶしい高校生、初々しい中学生。それぞれが希望を胸に学舎を巣立っていった。

●**中学校2年生 長崎研修旅行**
●**高等学校2年生 沖縄研修旅行**
ともに、3月14～17日
「平和教育」は本校が最も力を入れて
いる教育の一つで、それぞれの学校の2



パリのインターナショナルスクールを訪問した高校生

ンに8人が出発した。8月6日までの1カ月間、ハイレベルな授業を受講するなかで、大きく成長してくれること期待している。

④交換留学生

タイから1年間、留学しているナクシンダルナナットさん。生徒会主催の日本文化の日には浴衣を着て参加。日本での学校生活を満喫している。

年生が研修旅行に行った。1年間かけて学習してきた内容を実地で確認し、自分たちの思いを「平和宣言」に託し、捧げてきた。

●**入学式** 4月7日
今年も多くの生徒たちが、希望に胸をふくらませ新島記念講堂での入学式に参加した。「新人生宣誓」の言葉も英語と日本語で、それぞれ力強くなされた。

●**宿泊研修** 5月9・10日
5月12・13日
高等学校
中学校
同志社国際で学ぶことの意義を理解すること、クラス作りを目的として実施された。2日目には校祖墓参し、それぞれがこの学校で学ぶ決意を墓前に捧げた。

●**中学遠足** 6月17日
雨天で順延となり実施が心配されたが、好天に恵まれ、生徒たちが最も楽しみにしていたイベント。「愛・地球博」に中学生全員が訪れた。お目当てのパビリオンや世界の食べ物、長い時間ではなかったものの、教育実習生とともに楽しい1日を過ごした。

●**高校球技大会** 6月17日
グラウンド状態が心配されたが、体育

中学校

●**合唱祭** 2月15日
学年を締めくくる毎年恒例の行事としてクラス全体が一つとなり素晴らしい合唱を披露した。

●**卒業式** 3月19日
卒業生323人(女子174人、男子149人)が巣立つ。卒業式の後、体育館で卒業パーティが催されました。

●**ヌエーバスクール訪問** 3月26日～4月2日
●**入学式** 4月5日
新入生325人(女子176人、男子149人)

●**新入生オリエンテーションキャンプ・創立者墓参** 4月20～22日
同志社びわこリトリートセンターで1泊2日のキャンプと、創立者墓参を2期に分けて行った。

●**遠足(2・3年生)** 4月23日
2年生は滋賀県志賀町の松の浦キャンプ場で、3年生はユニバーサルスタジオジャパンへ遠足に行き、クラスの親睦を深めた。

●**ヌエーバスクール生との交流**

委員を中心とした生徒たちの努力によって、白熱したすばらしい試合となった。

●**国際交流プログラム**
①ヌエーバスクール交換プログラム 3月26日～4月3日
毎年恒例となった交換プログラムで、中学生9人が参加。さまざまなプログラムに充実した交流を行った。

5月7～14日
交換プログラムとして、ヌエーバより中学に8人が来校し、生徒との交流を深めてくれた。ホームルーム活動や授業にも積極的に参加し、日本の学校生活を堪能していたようである。

②エコール アクティブ ピラング ジヤンヌ マニユエル(フランス)
3月24日～4月3日
昨年の来校に迎えるかたちで、高校生12人がパリのインターナショナルスクールを訪問した。英語・フランス語が共通言語になるこの学校での生活は、生徒にとって新鮮な経験となった。

③フィリIPPスアカデミー サマーセッション 6月28日～8月6日
校祖の学んだ学校であり、アメリカ屈指の伝統校である「フィリIPPスアカデミー・アンドーバー」のサマーセッション

5月7～14日
ヌエーバスクールの生の本校訪問は数えて5回目となり、男子4人、女子4人が本校生徒宅にホームステイしながら、授業やクラブ活動に参加するなど生徒同士の交流を深めた。

今年度は特別プログラムとして、同志社礼拝堂でヌエーバスクール生徒歓迎の“The Wadaiko Night”が催され、学内



ヌエーバスクール生徒歓迎の“The Wadaiko Night”

4中学の生徒やホストファミリーの交流も行われた。

●生徒大会

5月13日

今年度の生徒会の活動方針と予算案が提案され承認された。ヌエーバススクール生も参加し、記念品が贈呈された。

●オープンキャンパス

6月4日

約2,000人の小学生、保護者の参加があり、礼拝体験や授業体験、クラブ見学など多くのプログラムが好評のうちに終了した。

●花の日礼拝・施設訪問

6月14日

奨励 韓 守信先生（日本キリスト教団京都英教会協力宣教師）、放課後、持ち寄られた花を持って船岡寮を生徒会執行委員、ホザナコーラス部、宗教ハンドベル部、ピースリンク部の生徒および有志生徒が訪問した。

●英語唱大会

6月24日

幼稚園

●1月お誕生日会

1月21日

午前中は全園児で、午後は誕生日を迎えた園児と保護者、教員が昼食を共にし、お祝いをした。（毎月1回行う）

●参観日

1月28日～2月8日

自由遊び、クラスの設定保育の様子を保護者に見ていただいた。

●鴨川マラソン大会

2月5日

全園児で鴨川へ行き、マラソンを楽しんだ。

●園外保育

2月7日

年長児が京阪電車に乗り稲荷山に出かけた。

●お餅つき

2月10日

お餅をついて、つきたてのお餅にきなこやあんこをつけて、おいしく食べた。

●お店屋さんごっこ

2月18日

年少・年中児が自分達で制作した品物で、お店屋さんごっこを楽しんだ。

●園外保育

2月22日

年中・年長児で防災センターに出かけ、映画を観たり、火事や地震体験をした。

●人形劇鑑賞

2月28日

全園児で劇団「飛行船」による人形劇を鑑賞した。

●園外保育

3月1日

年中児は吉田山へ、年長児は大文字山に出かけた。

●移動動物園

3月3日

園児が野菜や果物を持参し、園庭で動物たちと触れ合い、楽しく過ごした。

2005年度5中高『春季宗教教育強調週間』

中学校	国際中高		香里中高		女子中高	
	高校	中学	高校	中学	高校	中学
	望月牧師 「幸いの理由」	川崎牧師 「見えないものに目を注ぐ」			福島牧師 「誰からも引き離されない愛」	6月6日(月)
	うすき伝道師 「ガラガラキャンシャインを恐れない」	望月牧師 「幸いの理由」			福島牧師 「誰からも引き離されない愛」	6月7日(火)
	うすき伝道師 「ガラガラキャンシャインを恐れない」	望月牧師 「幸いの理由」			福島牧師 「誰からも引き離されない愛」	6月8日(水)
	うすき伝道師 「ガラガラキャンシャインを恐れない」	望月牧師 「幸いの理由」			福島牧師 「誰からも引き離されない愛」	6月9日(木)
	うすき伝道師 「ガラガラキャンシャインを恐れない」	望月牧師 「幸いの理由」			福島牧師 「誰からも引き離されない愛」	6月10日(金)

講師紹介(敬称略)
 岡本 知之(日本キリスト教団西宮教会牧師)、刀祢館美也子(広島女学院中・高校聖書科教師)、川崎 正明(社団法人「好善社」理事)、福島 旭(関西学院中・学部宗教主事)、相澤 弘典(松山城南高等学校聖書科教師)、うすきみどり(日本キリスト教団八幡ぶどうの木教会伝道師)、望月 修治(日本キリスト教団大津教会牧師)、大山 修司(日本キリスト教団膳所教会牧師)、藤浪 敦子(日本キリスト教団丸太町教会伝道師)、柳井 一期(日本キリスト教団洛西教会牧師)

●お茶会

3月7日

年長組が保護者をお茶とお菓子でもてなした。

●卒園礼拝

3月11日

年長組親子が同志社礼拝堂で礼拝をした。

●卒園式

3月16日

年長組(45人)の園児が卒園証書を読み、お別れの言葉や歌を歌った。

●始園

4月8日

3歳児30人が入園。

●懇談会

4月21・22・25日

学年ごとに年間目標や子どもの様子、クラスの取り組みについて意見交換を行った。

●園児大会

5月12日

京都市私立幼稚園の年長児が植物園に集まり、スタンプリナー等を楽しんだ。(年長組親子参加)

●春の遠足

5月24日

梅小路公園(年長組園児)

●植物園

5月31日

宝ヶ池公園(年中組園児)

●参観日

6月2・9日

植物園(年少組親子)

●春のバザー

6月11日

園児や卒園生、近所の方などが集まり、ゲームや買い物を楽しんだ。

●花の日礼拝

6月13日

園児たちが花を持参し、感謝の礼拝を行い、その後、いつもお世話になっている方々に園児たちが持ち寄った花を届けた。



「花の日」の楽しいひととき